

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

2013.11.26 発行

ニュース担当者

乙津.小神.仙仁.田代

伴奏講座（11回目）を下記お知らせの通り、1泊2日の日程で開催いたします。

毎回、講座の終わりに参加者から感想や要望などを聞きます。多くの方が「来年も開催して欲しい」、「次回も参加したい」と述べるなど、好評に応えて今年度も企画いたしました。

参加者の中には、すでにいろいろなところで実践をされている方も見受けられますが、全く伴奏の経験のない方でも安心して学習できるように二人の講師が分担して行います。（例えば、一人一人がコード《和音》の学習や伴奏に取り組む教室、あるいは、グループで学習する教室など）今年度も是非ふるってご参加ください。（夜の交流会が楽しみで参加する方もいるようです）

第11回 伴奏講座 参加者募集！



★ 講 師 青山 義久氏 ／ 池田 健氏

- 2014年2月8日（土）11:00集合～9日（日）16:00解散予定（1泊2日）
- 会場 星槎高校キャンパス <http://www.seisa.ed.jp/takao/>
- 参加費 13,000円（テキスト代、宿泊費、食事代：4食、交流会費すべてを含む）
※全日程参加を基本としますが、日帰りでの参加も可能です。
- 講師が二人ですので充実した内容です。
- 申込み&問合せ

Tel&Fax 044-877-9871 塚本五郎 E-mail tsuka@meg.biglobe.ne.jp

- 申込み締切り 2014年1月19日（日）★定員30名

《講座内容》（初心者の方にもわかり易く伴奏のツボを教えます）

この伴奏講座は、経験豊かな講師と一緒に実践することで、世の中にはたくさんのリズムがあることやフレーズとフレーズの合間に何をするか、また、コード（和音）や歌い手との関係など、独奏との違いを学ぶことで演奏の幅を広げることができます。また、この宿泊コースは各人の疑問や経験などを皆さんと話す機会を持ち交流するのが特長です。

目次

- 伴奏講座のお知らせ……1P
- 伴奏講座昨年の様子……2P
- 第25回関東アコーディオン演奏交流会出場者等からの感想……3～4P
- 城山うたごえサロン取材記……5～7P
- ホワイトボード……8～10P

伴奏講座(昨年)の様子を紹介(写真①はホームページより転載)

次回はやさしい曲でいいから右手でリズムを練習してきたい。できないところはそのままにしないで、わからないところはしっかり聞かなきゃダメだなあと思いました。

自分の夢がものすごく広がるんですけど、自分の年を考えるとそこまではとても駄目だと絶望感っていうか、その二つの気持ちを噛みしめています。今続けている5年で100曲の目標は降ろさずに頑張りたい。

うたごえの会で弾いているんですけど、ほとんどメロディーを弾いているので、メロディー以外でも伴奏付けられるようになりたいと思って初めて参加しました。同じ曲でも、和音によっても違うけど、まず、ジャバラの使い方で全然違うことを痛感しました。

“コードを自分で作ってみる”という話は参考になりました。ブンチャッチャしかできませんけど、もう少し変化を付けていきたいなと思いました。

一度もうたごえ喫茶に行ったことがないので、一度行って伴奏のテクニックを盗めたらと思っていたところ、元うたごえ喫茶の先生だった方が講師だということで参加してみました。自己流だったので、どういうところがダメなのかたくさん知ることが出来て有意義でした。



2

- ◎皆に教えられることがたくさんあるし、一人一人の想いとかに刺激を受けるのでここへ来ると元気になっちゃう。三日前から青山先生に来ていただき少し楽になりました。(池田講師)
- ◎すぐに上手くなれなくてもこの講座をきっかけにして、伴奏を通して上手になって続けていきたいというエネルギーになるような“スタートになるクラス”3回続けて参加して皆さんのが感想を聞いていて僕のクラスはそんな内容がいいのかなと感じています。(青山講師)



1

写真③は、感想を述べる解散前の様子

会場は、写真①のように周囲を樹木に囲まれた高台にあります。(写真は施設の一部)
写真②は、講座のひとコマ(青山教室の様子)



3

第25回 関東アコ演奏交流会出場者からの感想

私のアコの先生が話されていた通り、皆さんのレベルは私と比較するべくもなく、私の大きな錯覚、甘さ、レベルの違いすぎなど、じっくり考えたら恥ずかしくて身の縮まるような感覚になりました。

第一昔懐かしい曲(懐メロにちかい曲)など弾く方はどなたもいなくて、コンサートやコンクールの定番のような曲がずらりと並んでいたので、この大会のレベルを知った想いでした。

しかし、審査委員の方の評価、アドバイス、御指摘などをいただきたいということが大きな目的でしたから、私の目的はしっかりと叶えられ嬉しく思っています。

審査はあくまでも、これからアコ向上の上で大切なアドバイスという視点に立った内容でした。

優しく、励ますように、出場者のいい点を見つけてくださり、頑張ろうという大きな意欲に繋がるものでしたから、とても嬉しく私の宝物になりました。

またフロアからのメッセージもこれまた
私への励ましのエールは同じく大切な宝物
になりました。

賞状は額に飾り、審査員の方の励ましと
プロアからのエールは一冊のノートに貼つ
て、NOEL に来られた御客様にも読んでいた
だこうと考えています。

特に講評で私の演奏について話された事を考えてみました。身に余るお褒めの御言葉に、豚も木に登る想いになってしましました。が～

しかしその御言葉は、難易度の高い曲がどんどん増えていくなかで、アコの原点と

もいえる懐かしさ、豊かな感情の表現、聴く方の気持ちにそっとより添える演奏などが奏でることができる演奏という観点に立ち、こんな演奏もできるのだという事の見直しのきっかけの一端になったのではないか、と考えました。わたしの演奏云々ではなかつたと思いました。

次回、もし続けていれば、私はまた懐メロとか抒情歌で出場したいと思います。どうしてそのジャンルの曲はないのでしょうか。高齢者を元気付けられるような楽しい曲、歌の練習に励んでいこうという目標も見つかりました。

身の程知らずで参加して、レベルの大きな違いにしゅんとなっていましたが、でも大きなエールに励まされ、自分らしい演奏をこれからも続けていこうと思います。

できたら 12月22日のソロコンテストを聴きに行来たいなと考えています。

《感謝 氏家 道子》

オルガンサロン NOEL

<http://www02.jct.net/~one-well>

150年前の「リードオルガン」「ディスクオルゴール」と 樂しいひとときを…



チラシより一部転写▲

○○○○○○○○○○○○○○○○

Pupazzetti・・・この優雅で軽やかな曲を、会場いっぱいに美しい音色で響かせたいという思いで、練習を重ねてきました。

演奏は、すべてを出しきれず悔しい思いをして、弾き終わってから座席にて落ち着いたら涙があふれてきました。1位という名誉な賞を頂けたこと、まだ夢かと思うほど、信じられない気持ちで嬉しいです。素晴らしい先生のご指導、応援してくれる素敵なお仲間たち、また家族に支えられたことで、このコンクールに出場することができ、心から「ありがとうございます」って思います。

交流会という名のとおり、全体的にあたかかい雰囲気でした。

会場のお客さまからのメッセージカードには、とても励されました。

それと同時に、私自身もメッセージを書くということは、他の方の演奏を真剣に聴

いて20枚ほど書いたことで、へんな緊張感に苛まれることもなく、平常心で客席にいられたことが落ち着いて演奏できることにつながったと思います。

そして、今回このような名誉な賞をいただけてますます自信につながり、活動の幅が増えそうです。年末の国際アコーディオンコンクールにも“ルアン”でパフォーマンスコンクールにエントリーしており、ソロ部門でも同じ曲で応募することにしました。

これからも、まだまだ上を目指し、キレのある美しい音色の追求にこだわって、空気の楽器、アコの魅力を多くの方々に伝えたいと思います。《千葉 薫》

出場辞退者からの感想

関 東アコに出場する予定で教室の仲間に演奏を聴いてもらったりしていたのに、台風のため出場できず、今は何か遣り残しているようすっきりしない気持ちが抜け切れていません。やはり、人間、挑戦しようと決めたら失敗してもやってみることが大事であり、それが一つ一つの節目になると思います。

あの日の台風は何日も前から強力で上陸するかもと報道されていましたので、同じ教室の仲間に「何か連絡はあったか?」「やはり行われるのか?」と何度も電話して聞いたりしました。「連絡はないので、行ってみるしかないよ」と言われました。

私は、小田原に住んでいるので会場に行くまで2時間以上かかります。朝、切符を買う前に再度、仲間に電話して「何か連絡あったか」と確認しましたが「行くしかないよ」と言われ、『休日周遊パス』を買い電

車に乗りました。風と雨でアコにカバーを被せ私は完全武装。

電車に乗って動き出すのを待っていたのですが、「強風のため、前の電車が様子を見ていますので少々お待ちください」と車内放送がかかるばかりで動き出す様子は見られません。私は、車内で新聞を読んだり本を読んだりしながら待っていました。小田原から2つ東京寄りの国府津駅は、交通手段が東海道線しかありません。

途中、仲間に電話すると「僕はもう会場に着いたよ。参加者のほとんどの人が来ているよ」とのこと。動かない車内で2時間過ごしやむなく家に帰りました。「休日周遊パスは返金されず散々な1日になってしまいました。

12月22日のJAA国際アココンクールに再度挑戦し、新しい気持ちで2014年を迎えるたいと思っています。《Y・I》